

YOUNG BLOOD

「つながろう! 「仲間」と!」

JR連合 青年・女性委員会 議長 岡本 金樹

JR 北労組検証集會に参加!

JR北労組は、11月30日(日)に札幌市内にて「JR北海道の再生に向けた検証集會」を開催し、JR北労組青年・女性委員会をはじめ、JR連合青年・女性委員会からも仲間が参加しました。



検証集會では、現場報告として保線職場や車両検修職場の実態が報告され、若手社員のモチベーション低下が伝えられました。また、北労組組合員に実施したアンケート調査に関する報告においても、新たな課題が問題提起されました。

主催者を代表して挨拶に立ったJR北労組の田原委員長は「民営化以降の車両・設備の疲労とそれに向き合う働く者の疲労が積み重なった。複雑な労使関係により、ガバナンスが欠如し、社員の不祥事などが多く発生している。」と

JR連合松岡会長の熱の入った挨拶!

指摘、技術継承や若手育成の重要性を強調し、さらに内外に対して「変化」を感じてもらえる取り組みを実践していくことを示しました。基調講演では、労働科学研究所の井上枝一郎氏(関東学院大学教授)が「安全文化の確立と個人の対応」と題して講演され、個人の危うさ(人間の特性)と組織の危うさを過去の事故事例を紹介し、組織としての問題点なども指摘されました。

「再生プラン」実現に向けて新提言を提起

職場報告やJR北労組が実施した検証アンケートの報告を踏まえた「再生プラン」実現に向けた5つの新提言を提起し、引き続き取り組む決意を示しました。

